

～M5 ハイスピードトラクター



[M4 ハイスピードトラクターと↑]



[国電モハ 40 型と(撮影筆者)↑]

[ダッジ WC-51 と↓]



本車輛は、M4 ハイスピードトラクターを簡易量産化した米国陸軍のトラクターです。M4 を量産型ガンダムとすれば、M5 はジムということになります。外観の簡素化に加え、性能も速度が M4 に比べて遅くなるなど(M4 の時速 53km に対して時速 48km)、ジム感いっぱいな車両です(笑)。特に、外観はオープントップの車体に、町内会のテント宜しくキャンバス製の屋根を取り付けただけであり、これでもか、というぐらいに簡素化されています。しかし、曲面を廃した何の飾りもない箱型のフレームは、生産に大型のプレス機を必要せず、いかにも量産に向いていたものと思われます。その外観に設計思想が感じられ、逆に味わい深い車輛ということもできます。なお、個人的に、このデザインにどこか親近感を有するのですが、なぜだろう、と考えると、国鉄時代のこげ茶色の国電車輛(モハ 40 型など)の正面と似ており、筆者は国鉄時代を知る故、それが理由か?と思い当たりました。なお、この車両は戦後創設された陸上自衛隊にも供与され、映画「ゴジラ」(1954 年)にも、市中を走る姿がちらっと登場しています。それもまた理由の一つかもしれません。

【模型について】

ハセガワの 1/72 のインジェクションキットです。往年(多分 40 年以上前)のキットですが、佳作キットで、いまでも入手できます。

ただ、明らかに sprocket の歯数が少ないため、足回りをポーランドのミラージュ製 M3 戦車のものにまるまる代えています。また、屋根はティッシュペーパーで作直しています。なお、一緒に撮影した WC-51 はイタレリ製(旧エッシーの金型)のものです。

(中川裕幸 2022 年 2 月)

